



福岡における
「かっこいいクルマの使い方」を
考えるプログラム

クルマと 事故のはなし



クルマでの「人身事故」、
「私は大丈夫」と
思っていないですか？

国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所



「15,638件」

「15,638」

これは、平成15年の福岡市における交通事故の発生件数です。

これら事故の、発生原因のほとんどはクルマの運転者にあるのです。

注意しているからといって安全とは限りません

「安全な運転を心がけている」
「十分な安全確認を行っている」

自分ではそう思っていたとしても実際の運転行動がともなっていないというケースもめずらしくはありません。



例えば、高齢の方を中心に「必ず一時停止するように心がけている」と答えているにもかかわらず、実際に調査してみると、運転行動がともなっていないとの結果が示されています。また、運転への愛着が強い人ほど、事故や交通違反を起こしやすい傾向にあるといった報告もされています。

参考文献：運転者の身体能力の変化と事故、違反の関連、及び運転者教育の効果の持続性に関する調査
研究自動車安全運転センター



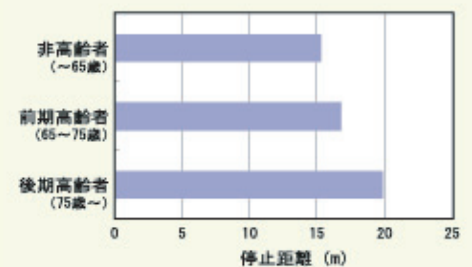
年齢にともない、運転技能は低下します

高齢になるほど、危険を察知してから「ブレーキを踏むまでの反応時間」が長くなり、「クルマが停止するまでの距離」が長くなります。

事故の危険性は、あなたの近くにひそんでいます。

もう一度、クルマとのつきあい方について考えてみるのもいいかもしれません。

時速30kmで走行していた場合の停止距離



上の図は、時速30km/hで走行していた場合の停止距離であり、加齢に伴い距離が長くなる傾向を示しています。

参考文献：高齢者の交通モード別の安全行動に関する調査研究
自動車安全運転センター